

## 第5章 各種感染症患者に対する感染予防

### I B型肝炎ウイルス (HBV), C型肝炎ウイルス (HCV)

- 1) 透析患者では無症状であっても月に1回以上は血清トランスアミナーゼの検査を行うことが望ましい。 (Level 2 C)
- 2) 透析導入時および転入時は HBs 抗原, HBs 抗体, HBc 抗体, HCV 抗体の検査を行うことを推奨する。 (Level 1 C)
- 3) HBs 抗原陽性患者には HBe 抗原, HBe 抗体, HBV DNA 検査を, HCV 抗体陽性患者には HCV RNA 検査を行うことを推奨する。 (Level 1 C)
- 4) HBs 抗原陰性患者でも HBs 抗体または HBc 抗体陽性であれば既往感染者と診断し HBV DNAの検査を行うことを推奨する。ただし, HB ワクチン接種による HBs 抗体単独陽性例は除外する。 (Level 1 B)
- 5) 透析患者は6カ月に1回は HBs 抗原, HBs 抗体, HBc 抗体, HCV 抗体の検査を行うことを推奨する。 (Level 1 C)
- 6) 明らかな原因もなく血清トランスアミナーゼが上昇した場合は, B型急性肝炎の検査として IgM-HBc 抗体, HBs 抗原, HBs 抗体, HBc 抗体, C型急性肝炎の検査として HCV RNAの検査を行い, 急性肝炎が疑われる場合は肝臓内科専門医へのコンサルテーションを行うことを推奨する。 (Level 1 C)
- 7) 透析施設において HBV および HCV の感染を予防するためのマニュアルを作成すること, これに基づくスタッフ教育および厳格な感染コントロール手順を実施することを推奨する。